

平成 24 年度 健康診断結果の概説

Ⅱ. 血液検査項目(機能別)について

14) C 型肝炎(図表 J1-9-14): HCV 抗体

受診者数: 16,302 人(男性 9,042 人、女性 7,260 人)

有所見(抗体陽性)率 0.4%(男性 0.5%、女性 0.3%)

抗体陽性率は男女とも 30 歳台までは非常に低率で、40 歳台以降に上昇し、男性の場合 70 歳台で際立って増加しています。数十年前までは C 型肝炎が多発していたことを物語る所見です。当時は血液を介して C 型肝炎ウイルス(HCV)が感染するということが分かっていませんでした。このため現在 50 歳台以上の人たちには、ワクチンの予防接種で同じ注射針による「回し打ち」がよく行われたために、感染した人たちが多かったとされます。HCV は HBV と違って感染力が非常に弱いので、今後、抗体保有者は漸次減少する見込みです。